

大町病院を守る会会報

No. 67

2019年1月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

新年のご挨拶

大町病院院長・事業管理者 井上善博



新しい年が明けました。大町病院を守る会の皆さんには日頃より多岐にわたり大変お世話になっております、本年もよろしく申し上げます。

昨年の大町病院は、平成29年度の決算が予定以上の赤字で、資金不足比率が20%を超えたことが市議会で大きな問題となりました。個別外部監査を受けて問題点を指摘いただき、1月には経営健全化計画を作成する予定です。職員の給料、賞与を削減するという思い切ったことを行い、皆さんには大変ご心配をおかけしましたが、平成30年度の経営状況はそれほど悪くなく、最終的には、医業収益は前年に比べ2億円近い増収を見込めそうです。

今年も病院経営は厳しい状況が続くと思います。今年も病院の浮沈を賭けた1年と考えております。何とか経営状況を改善させ、今年も黒字決算を狙えるまでに経営を改善できればと期待しております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

大町病院を守る会 会長 北村喜男



あけましておめでとうございます。

昨年は「守る会」の活動も大町病院の再生・対応に明け暮れた1年でした。病院経営改革では7月、病床数を199床とし病院をコンパクトな体制とするとともに、大幅な診療報酬増を図りました。その結果30年度の見通しでは、医療・外来収入の大幅な増加となっています。病院祭等も大胆な経費削減を実施

し行いました。しかし9月市議会では経費削減、とりわけ人件費の水準と定数の削減が焦点となり、避けて通れない大きな課題となりました。病院では経営健全化計画（新改革プランの前倒し）と具体策の立案、労使交渉を重ねる中で歩み寄り、合意妥結が図られました。病院職員の皆さんには地域医療に無くてはならない大町病院をなんとか残すため身を削る苦渋の選択であったと思います。皆さんが決断された判断は市立病院存続に一条の光を与えるものでした。

これに答えるように市長、副市長、教育長が給与カット、市役所の部課長も手当カットを行うという、市を上げての支援体制が組みられました。

「守る会」も私達にとってできる支援はなにか真剣に考えていかななくてはなりません。

会員・家族はもとより地域医療の拠点病院を守るため、健康診断、人間ドックなど率先して利用するとともに、老後の疾病についても昨年11月より在宅療養支援病院として24時間体制で緊急時の医師の往診・看護体制、在宅リハビリ、地域包括病床、療養病床など細部にわたってケアが充実した大町病院の医療体制をできる限り活用しようではありませんか。病院再建はまだスタートラインに着いたばかりです。市民みんなの協力で一日も早い経営健全化が図られるよう頑張りましょう。

病院再生のため経営健全化計画を推進 人件費・経費の削減と増収策を前倒し実施 「市民の命を守るため」職員の英断に共感の声

資金不足比率が 22%となった大町病院の経営再生に向けて、職員給与の削減について労使双方が 11 月 1 日から 4 回にわたり団体交渉を重ね、11 月 29 日妥結しました。交渉を通じて病院存続のため、経費、人件費削減、収入増大に向けての具体案が真剣に協議されました。医業収益の 7 割を占める人件費が最大の焦点でしたが給与水準の引き下げ、関連事項は新聞報道によると次のとおりです。病院職員を応援するためにも全市民上げて再建に向けて協力しよう。さあスタートです。

給与削減について

基本給月額 2.3～3.8%の削減 280 人。病院長 7.3%削減。・・・1月から実施
賞与年間 0.4 月分削減（4.45 月から 0.4 月分削減）・・・昨年 12 月より実施済

※職員 1 人あたり 11 万～37 万円の削減額

- ・給与削減で・・・年間 8000 万円
- ・休日勤務手当・時間外勤務手当の代休振替により・・・年間 2300 万円

- ・単年度黒字化のためには・・・3 億 5 千万円を捻出
- ・医業収益の増収・・・1 億 9 千万円
- ・人件費・コスト削減・・・1 億 6 千万円
（人件費、残業代圧縮、ジェネリック医薬品など）

病院外の対応

12 月 7 日 市長、副市長、教育長の給与を 4%引き下げ病院職員と気持ちを一つに再生へつなげる
3 人の年間削減額は 97 万 5 千円・・・3 年 3 ヶ月で 316 万 8 千円

12 月 11 日 市役所部課長（36 人）は病院経営の改善支援のため管理職手当の減額を決定。

- ・部長級 10 人・・・20%削減
- ・課長級 26 人・・・10%削減

実施時期 2019 年 1 月～2022 年 3 月までの 3 年 3 ヶ月

病院職員、市役所職員の皆さん、「市民の健康を守るため苦渋の選択をし、病院再生を目指し奮闘
いただいております。「守る会」も会としてできることを着実に進め、皆さんと一緒に支援していき
ます。

大町病院労組の声明（抜粋）

（妥結結果は）「決して納得の行くものではありませんが、今回の結果に悲観的になるのではなく
逆転の発想で自分たちの人件費を抛出することにより、大北地区の地域医療を守り、そのうえで
公立病院である市立大町総合病院を守ることとなった。」と表明しました。

大町病院の 199 床体制とこれからの医療プログラム

太田久彦副院長健康管理部・医療社会事業部長地域懇談会講演要旨

健康診断の勧め ～生き活きと生活するために～ 転ばぬ先の杖

○がん、脳卒中、心臓病 3 大死因にしっかり対応する大町病院



↑ 講演する太田久彦副院長

●癌を早期に発見するための大町病院の検査システム

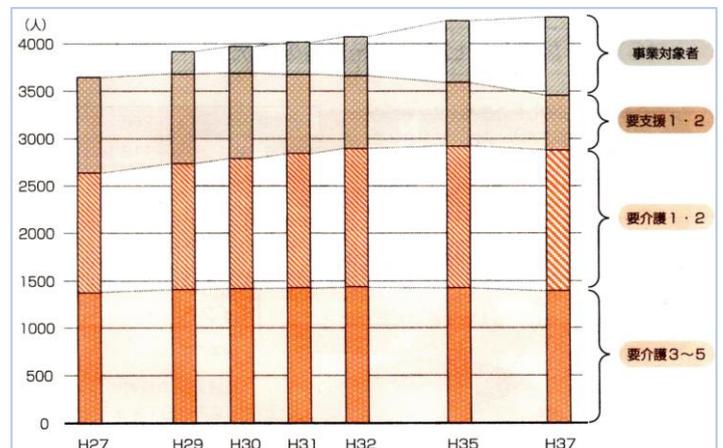
- ◆ 胃内視鏡 ----- 胃
- ◆ 大腸内視鏡 ----- 大腸
- ◆ 大腸 CT ----- 大腸・肝・胆・膵・腎
- ◆ 腹部超音波検査 ----- 肝・胆・膵・腎
- ◆ 胸部 CT ----- 肺・縦隔・冠動脈硬化
- ◆ PSA ----- 前立腺の腫瘍マーカー

○動脈硬化を発見する検査のために大町病院の検査システムをフル活用

- ◆胸部 CT ----- 胸部大動脈・冠動脈
- ◆腹部超音波検査 ----- 腹部大動脈
- ◆脳ドックの MRA ----- 脳動脈・頸動脈
- ◆脳ドックの頸動脈エコー --- 頸動脈・椎骨動脈
- ◆CAVI/ABI ----- 胸腹部～四肢
の動脈

○老化 Aging への対応（高齢者対策）

- ・加齢に伴う臓器の機能低下
- ・大北地域で介護（支援）が必要な人の将来推計 H31 年度には 4000 人の見込み。



○大町病院の使命は

- ・大北地域の皆様の疾病発症の予防と早期発見・早期治療に貢献すること
- ・年齢による老年症候群の増加を抑えることで、生き活きとした生活をおくることに貢献すること

○大町病院の強み（優れた制度と体制）

- ・ 内科・総合診療科の医師の層が厚い
 - 外来には各領域の専門医が揃っている。
- ・ 一人一人の病態を総合的に判断する点で、訪問診療に強みを発揮できる。
 - 現在、積極的に訪問診療を展開している。
- ・ 訪問看護、訪問リハビリと合わせて、訪問系サービスを積極的に展開できる。

○在宅支援病院として24時間体制（昨年11月より）

総合診療科 - 訪問診療 - 在宅療養支援病院・・・在宅で24時間支援します

- ・ 24時間体制で緊急時の医師の往診を受けることができる
- ・ 訪問看護との連携により24時間体制の看護の提供ができる
- ・ 定期的な診療を在宅で受けることができる
- ・ 希望があれば在宅での看取りが可能である
- ・ 緊急時の当院での入院が常時可能となる
- ・ （万が一受け入れできない時は入院先を責任を持って確保する）

層が厚い大町病院の在宅療養支援チーム

常勤医師・・・金子一明 脇田隆寛 塩沢良一 鳥居旬 山内瑛子

非常勤医師・・・関口健二 實近百恵

総合診療科 - 緩和ケアの充実

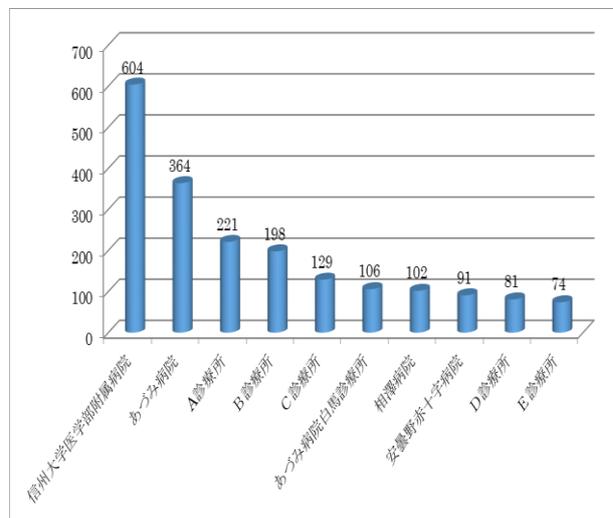
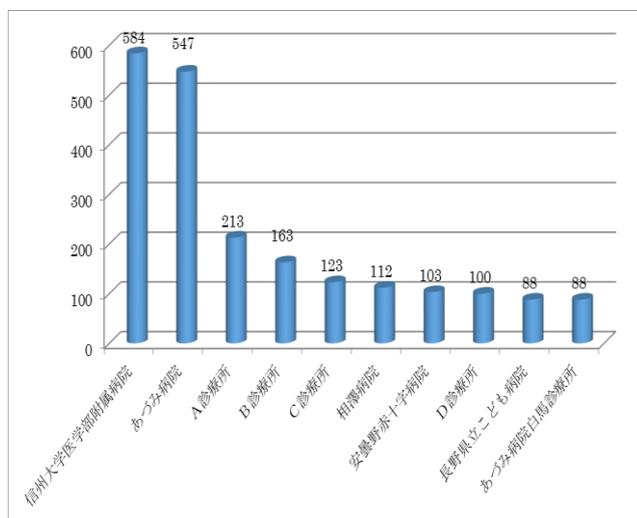
平方 眞医師（愛和病院 副院長）

当院の緩和ケア外来 隔週担当

当院の院内スタッフの教育と指導を担当

重要な地域の医療機関との連携

- ・ 専門的な医療が必要な場合の他病院・医療機関との連携は、現状でも十分機能している。
- ・ 他医療機関との連携紹介 信大付属 584件（27%） あづみ病院 547件（26%）・・・グラフ左
- ・ 他医療機関からの受け入れ 信大付属 604件（32%） あづみ病院 364件（18%）・・・グラフ右・



- ・ 信州大学附属病院の各診療科からは、外来の非常勤医師を派遣していただいています。

大町病院の強みは - 充実したリハビリ体制

- ・ 多様なリハビリテーションが提供できる
 - ◇入院のリハビリテーション
 - ◇外来のリハビリテーション
 - ◇訪問リハビリテーション
 - ◇老健・虹の家の入所リハビリ
 - ◇老健・虹の家のデイケア



- ◇外来の短時間デイケア
- ◇地域の体操教室、介護予防事業への協力
- ◇介護予防総合支援事業の実施

地域に貢献します

- ◆総合診療による医療
- ◆訪問系サービス（診療・看護・リハ）の一層の充実
- ◆総合的なリハビリテーションの提供

※**これが在宅医療を進める大町病院の新たなスタンス！！**（文責：高橋）

産婦人科桑原先生からのお知らせ

～お散歩会・マタニティヨガ・立会い分娩について～



◎お散歩会

2018年5月より月1回(第1木曜日13時～)、妊婦さん対象のお散歩会で約1時間弱を歩いています。場所は運動公園・木崎湖・大町温泉郷・市街地などで、季節によって気持ちよく歩ける場所を選んでいきます。

皆とわいわい楽しく歩くことで、気分転換と体力作りができます。特に初めてのお産の方は不安が募ることが多いですが、経産婦さんや他の方と話すことで安心することができます。こちらに移住してきたばかりで知り合いがいなかった方も、子育て仲間ができたと喜んでいました。

◎マタニティヨガ

2018年11月より月2回(第2・4水曜日10時～11時)大町病院内でマタニティヨガを開催しています。ヨガを通して、妊娠中のカラダとココロの変化をあるがままに受け入れ、自分への愛情を育て、赤ちゃんとの絆を深めていきます。ヨガでの呼吸法やカラダに向き合う時間を持つことで、お産に必要な身体感覚が養われ、出産の準備をしながら育児への自信を育みます。

妊娠中のヨガクラス参加者の方からは、体がとてもリラックスして気持ちよかったという感想をいただいています。2019年には産後クラスも開催予定です！

◎立会い分娩の内容が変わりました！

立ち会う人：「夫のみ」から「妊婦さんが望む方 大人2人まで」に。

立ち会う方の要件：「両親学級への出席が必須」から「両親学級への出席は勧めますが、無理であれば出席しなくても大丈夫」に。



今年もイルミネーションが点灯

11月30日午後6時から樅の木の前で点灯式が行われました。井上善博病院長（事業管理者）、牛越徹市長（病院開設者）、北村喜男守る会会長の3人によりスイッチが押されきらめく明かりが点灯しました。

今年は駐車場からの手すりと柵に電飾が拡大され一層賑やかさを増しました。



イルミネーションふれあいコンサート開催



- ①：ハンドベル 奏者：病院ハンドベル隊
(医療技師9名)
- ②：ピアノ 奏者：田中あきほ（病院薬剤師）
- ③：ピアノ連弾 奏者：奥原直美・小林美恵
- ④：琴 奏者：白沢美智

本格的な演奏に聞き惚れてしまいました。

職員の皆さん、市民の皆さんありがとうございました。

箏奏者 白沢美智さんよりお手紙が・・・



大町病院を守る会の皆様この度はイルミネーションふれあいコンサートでお琴を弾かせていただき有難うございました。病院を地域からなくしてはいけないという一つの思いで、地域の方々と病院の職員の方々がともに行動されている

姿、このようなイベントを継続して企画運営されていることに心から素晴らしいなと思いました。こちらへ移住してきました私にはこの地域に長く住まわれている皆様と知り合うことができましたことも嬉しいことです。私は琴の演奏くらいでしかお役に立てませんが、この地域の皆様、さらにこの地域を訪れる外国の皆様にも、琴の演奏で日本の素晴らしさを少しずつでもお伝えしていきたいと思っております。又、大町病院を守る会のイベントに協力させていただければ幸いです。寒さ厳しくなりましたどうぞご自愛ください。 かしこ 平成30年12月

たぐち たみさんが病院支援にうた声披露します



「早春賦を愛唱する市民の会」歌唱指導者のたぐちたみさんは、大町病院で生まれました。その大町病院の経営が窮状にあることを知り何とかお手伝いをしたいと考え、次の日程で歌声を披露することになりました。

①1月13日(日) 14:30~15:30 虹の家 食堂

②1月24日(木) 14:30~15:15 南棟さくら講堂

今後、呼吸器疾病対応で太田久彦副院長と協力し歌声を通して健康回復する企画を検討することとなりました。会員の皆さん、市民の皆さん聞きに来てください！

(ご参加いただける場合は、インフルエンザ流行の折、マスクの着用をお願いします。)

信大研修生 下山田多恵さんが市内を見学

研修の合間をぬって、12月7日午後、大町の良さを知ってもらうために、風土、歴史、町並み、伝統工芸などについて案内しました。

見学先は松崎和紙、仁科神明宮、塩の道、鷹狩山、山岳博物館、高橋貞夫ギャラリー「木匠」、若一王寺神社、仁科三湖一周大町ダム龍神湖でした。短時間の案内でしたが大町市の一端を感じてくれたらいいなと思います。



松崎和紙の腰原社長さんと

雪遊び交流会 2月11日 爺ガ岳スキー場で

今シーズンの雪遊び交流会は2月11日(月・祝)、爺ガ岳スキー場で開催します。スキー・ボード、そりのほか、雪上運動会、宝探し、雪上散歩など楽しい催しを予定しています。リフト・トロイカは乗り放題、食事付き。病院前出発10時です。

・申込みは職員の皆さんは総務課、守る会会員の皆さんは事務局次長高橋まで。(携帯 090-4054-2747)

・募集は先着30人です。ぜひ大勢の参加を！(別紙チラシ参照)

年末年始 大町病院に患者殺到 (FB よりシェア) 想定外的混雑にスタッフ全員で汗だく

ドクター.K. K

年越しは日当直で当番医でした。(救急患者)106人も来院し救急車7台。診た数は70人以上。入院は2人だけで助かりました。

ナース I. H

・年末当直...混雑は予想していたことですが急性アルコール中毒複数。専門的治療のため他院へ搬送、その間一人きりの救急外来のお留守番。さらに病棟ではお産があり、上手く対応してくれました。

けいれん重積対応。救急車を呼んだものの車中で呼吸停止、その後心停止...蘇生に成功。一見大丈夫そうに見えた...。

高齢者、くも膜下出血。がーん(▽▽);甘かった...ごめん。さすがドクターありがとう!

不眠不休で医師も看護ももう限界域、あとちょっとがんばるんだといいきかせ...小児CPA!?

助けたい! 医師、看護師、ME 他たくさんのスタッフが応援に来てくれた。

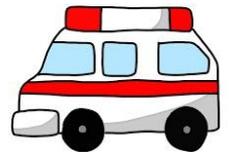
これらすべて対応できたのは、急性期病棟の皆が助けてくれたから...。本当にありがとう♥

重症者がいる中、協力が嬉しい限り。いったい何件の救急だったっけ?

終わって見れば、当番日でした。救急外来を明け渡すのに気がひけるほど待ち合い室はごったがえしている。お疲れ様です...と後退りした☺

帰宅後、茶碗蒸しとブリを焼いた記憶はあるものの...。紅白もおとしとりも寝たきり☺

しっかり寝たので元気回復!今年もよろしく願いいたします。



ドクター.S.T

新年初日の昨日の手術室は忙しかったですね~

外科は予定の腹腔鏡下ヘルニア根治術以外に、オーストラリア人旅行者の虫垂炎の緊急手術。

脳外科が血腫除去2件に、クモ膜下出血の動脈瘤のクリッピング手術。

病棟はほぼ満床状態です。

手術室のスタッフのみなさん、青木先生、お疲れ様でした!

会費の納入者 30年度分 (7月以降 順不同・敬称略) 皆さん有難うございました。

団体会費 大北医師会 佐藤歯科医院 大町市職労 大北農協 木崎温泉開発 農園カフェラビット

個人会費 田中栄一 松本光代 松尾忠久 駒沢一明 橋井弘治 北沢とみ子

塩入博仁 塩入優子 小日向敦子 丸山令子 伊藤芳行 井出好美 佐藤淳子 平林千恵 南部道雄

北沢文子 倉科里香 篠崎やよへ 青木亮佐 北澤孝一 中島節子 吉田弘巳 下出玲子 八角宣一

江津敏雄 松田俊郎 二条孝夫 小林治男 降旗達也 佐藤浩樹 勝野富男 栗林学 平林英市

太田昭司 西沢正敏 宮脇哲子 村山司 黒岩徹 吉澤義雄 矢口定男 鈴木幸佳 日堂喜美子

日堂優 小林敏博 傘木覚 林春美 宮永玉子 勝野健一

新規加入者 丸山優一 **寄付** 齊藤忠雄 1万円

会費未納の方は郵便振替用紙にて振り込むか病院窓口で、封筒に住所氏名を書いて守る会会費とお渡しください。守る会へとりついでくれます。